

# 東屋設置場所



## ○八幡地区

### ◆設計方針（コンセプト）

- ・集いの空間をイメージし、人々が交流しやすく使いやすいような設計にしました。
- ・中央部分に「円」のような空間を設けることで、中央部分を囲むように座って人々が会話など交流しやすいようにしました。
- ・スペースを設け、大人数でも座れるようにするため、いろいろな方向から座れるようにしました。
- ・「和」をイメージしました。
- ・八幡地区とした理由としては、人が集まると感じ、川開き祭りの際にも利用でき便利だと思ったからです。

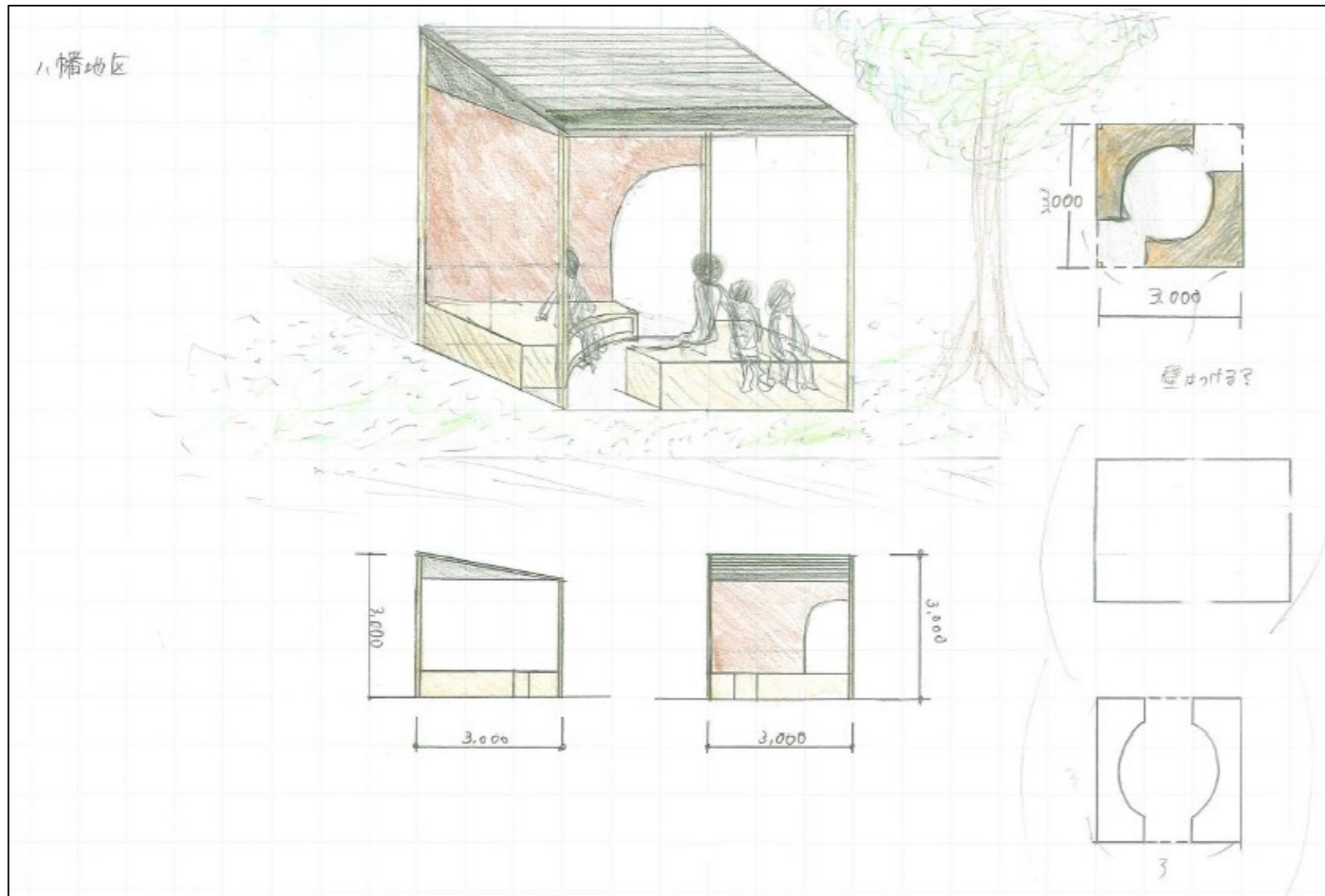
### ◆イメージ（〇〇空間）

集いの空間

### ◆寸法（高さ・幅・長さ）、構造など

寸法：H3.0m × B3.0m × L3.0m  
構造：木造

### ◆イメージ図



## 【完成写真】

### 《 正面 》



### 《 側面 》



## ○住吉地区

### ◆設計方針（コンセプト）

- 住吉地区のイメージは、子供が多く集まると思ったので、丸い東屋にしました。
- 正面以外を壁で囲むと東屋内が暗くなるため、東屋後方の壁を取り払い、日光が入るようにしました。
- ベンチは、内側と外側に設けました。
- 夏の暑い日には内側、少し寒く、日光浴をしたい時には外側に座って過ごすことができます。
- またベンチは、少し窪みを付け座りやすくしました。

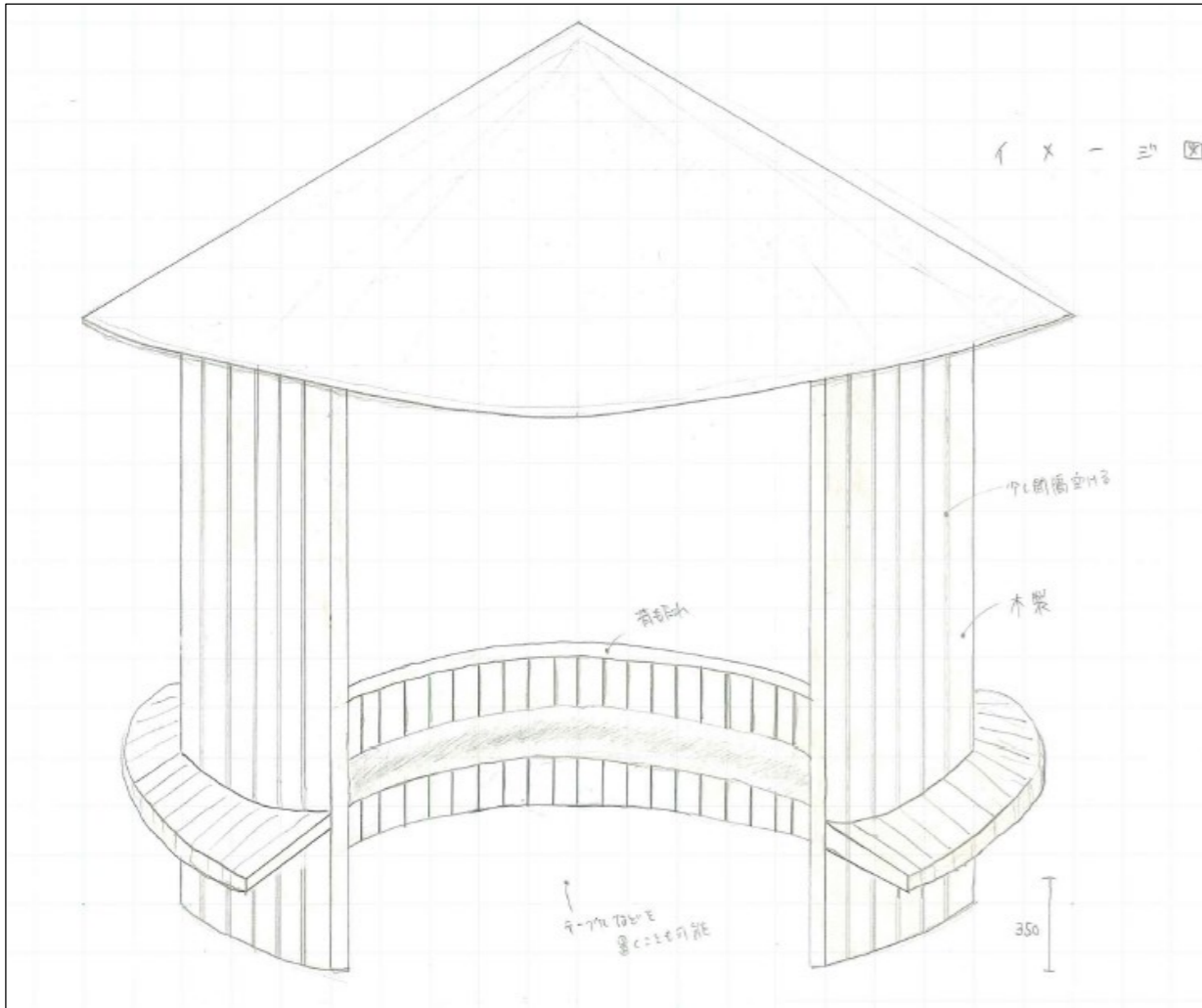
### ◆イメージ（〇〇空間）

学び・遊びの空間、憩いの空間

### ◆寸法（高さ・幅・長さ）、構造など

寸法：H3.0m × B3.0m  
構造：木造（屋根はスレート）

### ◆イメージ図



## 【完成写真】

### 《 正面 》



### 《 側面 》



## ○不動地区

### ◆設計方針（コンセプト）

- あまり主張しすぎるデザインにしないよう、シンプルに仕上げました。
- 波をイメージした形とし、屋根・壁・ベンチの形を曲線で表現しました。
- スペースを無駄なく使うために、ベンチを途切れさせずに繋げて、壁際に寄せるように設けました。
- 利用しやすいように2面だけを壁にし、ほかの2面には壁を設けず、開放感のある東屋にしました。
- ベンチは、少し窪みを付け座りやすくしました。

### ◆イメージ（〇〇空間）

海のまちなので、波の形をイメージしました。  
曲線が多いので、柔らかく温かいイメージに仕上げました。

### ◆寸法（高さ・幅・長さ）、構造など

寸法：H3.0m(2.2m) × B2.0m × L5.0m  
構造：木造

### ◆イメージ図



## 【完成写真】

### 《 正面 》



### 《 側面 》



## ○門脇地区

### ◆設計方針（コンセプト）

- 周りの風景より目立たないようなシンプルな感じに設計しました。
- 内部は、3面に椅子があるので対面できる形にしました。
- 対面できる形にすることで、会話が弾むと思い設計しました。
- 木材は、木の明るさが日光に当たると明るいので、ヒノキを使います。

### ◆イメージ（〇〇空間）

休息の空間

### ◆寸法（高さ・幅・長さ）、構造など

寸法：H3.0m × B3.0m × L3.0m  
屋根は片流れ、最大6人

### ◆イメージ図



## 【完成写真】

### 《 正面 》



### 《 側面 》

